

視覚の遊び心を形にしたオブジェプレート

1985年にミケーレ・デ・ルッキによって考案されたプレートです。安定感のある円形の中に、不規則な白黒パターンを施した長方形が配され、全体の構成に緊張感を与えています。セロリの外周には、半円形のモチーフが対で水平・垂直に配置。また、トマトの外周には、2つの円形モチーフが水平に重ねられ、視線に流れとリズムをもたらしています。静と動の対比がユーモラスかつ軽やかに表現され、メンフィスらしい遊び心と反機能主義的な美学を体現しています。

セロリ

Celery

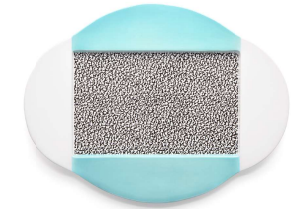
Designed by Michele De Lucchi [1985]

Made in Italy

W.420 D.320

セラミック

¥88,000 (tax-included)



セロリ

トマト

Tomato

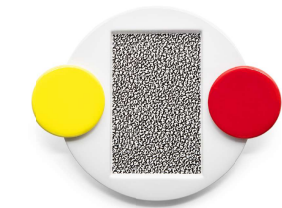
Designed by Michele De Lucchi [1985]

Made in Italy

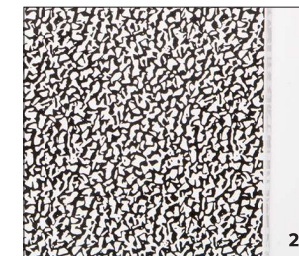
W.350 D.280

セラミック

¥77,000 (tax-included)



トマト



1. 素材にはセラミックが使用され、デカールによる転写と手描きによる仕上げが施されています。工業製品でありながらも一点一点に個性が感じられる仕上がりとなっています。
2. 中央部分には1981年にエットーレ・ソットサスによって考案された「Spugnato」と名付けられたパターンが用いられ、作品のデザインの核となる役割を担っています。この模様は、テラゾー、チェーンリンク、スポンジなど、日常的によく使われる素材や物に由来しています。